

山梨大学工学部の改組に関するQ&A

R5.9.1 現在

No.	区分	質問	回答	更新日時
1	学修内容	今の7学科のカリキュラムがどのように変わるのですか？	<p>新体制では、1つの学科(工学科)にして、全ての学生にデータサイエンス教育を取り入れるなど基礎教育を強化します。そのうえで、専門分野毎のコースを設け、専門教育を厳選する中で、新たな社会に貢献できる人材育成のためのカリキュラムを構築します。</p> <p>具体的には、基礎教育において、実践ものづくり演習等の学科横断的なPBL(課題解決型学習)科目、他学部(生命環境学部)開講科目や他大学(山梨県立大学)との連携開設科目など文理の枠を超えた多様な領域の科目を履修することにより、幅広い知識の修得が可能となります。</p> <p>また、専門教育においては、専門分野毎のコースで修得すべき専門科目を厳選した「基幹履修モデル」や、専門分野のより深い学修に応える「発展履修モデル」を履修することなどにより、自らの興味・関心等に基づく学修が可能となります。</p>	R5.5.11
2	学修内容	改組によって先端材料理工学科が無くなるのですか？改組後も先端材料理工学科で扱ってきた材料科学などの分野の内容を山梨大学で学びたいのですが、どのコースで学べますか？	<p>今回の改組では、先端材料理工学科を含め現工学部の全ての学科を1つに統合します。そのうえで、新しい7つのコースとして生まれ変わります。現在の先端材料理工学科で扱っている材料科学などの分野の内容は、新設される複数のコースにおいて提供されます。今後、工学部HPやパンフレット等に掲載予定のカリキュラム等を参照してください。</p> <p>また、今回の改組の特徴である「総合工学クラス」では、1年間を掛けて物理や化学に関する基礎知識を広く学びつつ、教員やコーディネーターとの相談等を通じて、2年次以降に所属するコース(専門分野)をじっくり考えることができます。</p>	R5.5.11

山梨大学工学部の改組に関するQ&A

R5.9.1 現在

No.	区分	質問	回答	更新日時
3	総合工学クラス(枠)	総合工学クラスとはどのようなものですか？	<p>今回の改組の特徴である「総合工学クラス」では、1年間を掛けて物理や化学に関する基礎知識を広く学びつつ、教員やコーディネーターとの相談等を通じて、2年次以降に所属するコース(専門分野)をじっくり考えることができます。工学共通の幅広い知識・技術を学びつつ、専門分野に進むための適性を見極めることができ、「工学全般に興味があり、入学後に専門分野を決めたい受験生」や「より多くの基礎科目をしっかりと学んだうえで専門分野に進みたい受験生」に適しています。</p> <p>1年次のカリキュラムは、2年次から所属する専門コースへスムーズに移行できるよう構成しており、2年次からの所属コースは、可能な限り本人の希望を勘案し、成績等をもとに決定します。</p> <p>また、総合工学クラス出身者を中心に履修可能な教育プログラム「工学の社会実践教育プログラム」を設けます(同プログラムの詳細は「4」をご覧ください)。</p> <p>なお、総合工学クラスを志望する方は、出願時に「総合工学枠」を選択してください(一般選抜(前期・後期)のみの募集です)。</p>	R5.5.11
4	総合工学クラス(枠)	工学の社会実践教育プログラムではどのようなことが学べるのですか？	<p>工学の社会実践教育プログラムとは、総合工学クラス出身者を中心に工学部の全学生が2年次から履修可能なプログラムであり、工学科の各コースに所属しつつ、専門の基幹科目や応用科目を履修しながら、社会の様々な課題を解決し生活をより良くするためにどのように専門を役立てるか(「工学の社会実践」)について学びます。</p> <p>具体的には、他学部(生命環境学部)開講科目や他大学(山梨県立大学)との連携開設科目など文理の枠を超えた多様な領域の科目の履修のほか、県内企業・自治体など外部の有識者の協力も得ながら、大学や専門を超えた学びを通じ、社会を理解し問題を認識する目を養い、自身の専門性を社会課題にどのように活かすことができるか、実習や研究を通じて探求を重ね、解決に向けて社会に提案していきます。</p> <p>なお、同プログラムの履修科目は、全て卒業に必要な科目(単位)に算入され、修了者には工学科の学位に加え、プログラム修了証を授与します。</p>	R5.5.11

山梨大学工学部の改組に関するQ&A

R5.9.1 現在

No.	区分	質問	回答	更新日時
5	所属コース	所属コースはいつ決まるのですか？変更は可能でしょうか？	<p>一般選抜(前期)の場合、出願時に、2年次に所属することとなるコース(総合工学枠含む)の志望順位を第3志望まで記入していただきます。試験の得点順に、志望コースを勘案して合格者を決定します。なお、第1志望のみ、又は第2志望までの記入も可能ですが、第3志望まで記入した方が合格の可能性が高くなります。また、2年次進級時に、条件を満たせば所属コースの変更も可能です。</p> <p>一般選抜(後期)は、総合工学枠のみの募集となります。「3」のとおり、2年次から専門のコースに所属します。</p> <p>特別選抜(総合型選抜Ⅰ・Ⅱ及び学校推薦型選抜Ⅰ)は、出願時に志望するコースを1つ記入していただくため、合格発表時に所属コースが決まります(特別選抜では総合工学枠の募集はありません)。</p>	R5.5.11
6	所属コース	在学中に 他のコースに移る ことができるのでしょうか？	<p>2年次進級時に1年次に所属しているクラスから派生するコース(入試で合格したコース)に所属することが基本となりますが、条件を満たせば他のコースに進むことも可能です。</p> <p>総合工学クラス所属学生(1年次)は、2年次から専門のコースに所属します。</p> <p>また、3年次進級時にもコース変更(転コース)が可能です。なお、変更にあたっては、成績等の条件を満たすことが要件となります。</p>	R4.4.18

山梨大学工学部の改組に関するQ&A

R5.9.1 現在

No.	区分	質問	回答	更新日時
7	入試	募集人員や試験科目は決まっているのですか？	<p>工学部工学科の入学定員は、現在の工学部7学科の入学定員(365人)と変更ありません。選抜区分毎の募集人員の目安は、「令和6年度工学部改組に伴う入学者選抜試験の変更について(最終報)」のとおりです。</p> <p>総合型選抜Ⅱ及び一般選抜(前期・後期)の試験科目について、全てのコース等で、大学入学共通テスト「理科」において「生物」が選択可能となります。</p> <p>一般選抜(前期)の個別学力検査「理科」では、以下のとおり科目を選択する必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリーンエネルギー化学コース、応用化学コースを志望する方 →化学 ・機械工学コース、メカトロニクスコース、電気電子工学コースを志望する方 →物理 ・土木環境工学コース、コンピュータ理工学コース、総合工学枠を志望する方 →化学・物理のいずれか <p>上記を含む具体的な選抜方法等については、「令和6年度工学部改組に伴う入学者選抜試験の変更について(最終報)」や入学者選抜要項及び学生募集要項を確認してください。</p>	R5.9.1
8	入試	学校推薦型選抜Ⅰとはどのような選抜方法ですか？	<p>学校推薦型選抜Ⅰは、令和6年度入試(令和5年度実施)から新たに導入する選抜区分であり、総合工学枠を除く全てのコースで募集を行います。選抜単位として、性別に依らずに出願できる「一般枠」のほか、女性のみが出願できる「女子枠」を設けます(一般枠と女子枠は併願が可能です。女子枠の詳細については「9」をご覧ください)。</p> <p>調査書、多面的・総合的な評価のための申告書、学校長推薦書を事前に提出していただいたうえで、小論文、面接を実施し、これらを総合的に評価します(大学入学共通テストの受験は不要です)。「女子枠」への出願者は、上記に加え、志望理由書(男女ともに輝ける社会を創造するために工学系出身者が貢献すべきことや、ダイバーシティの視点で大学で学ぶべきこと、身に付けたいことなどに関する考えについて記載)の提出も必要です。</p> <p>また、現在実施している総合型選抜Ⅰ・Ⅱも総合工学枠を除く全てのコースで実施します。</p> <p>具体的な選抜方法については、「令和6年度工学部改組に伴う入学者選抜試験の変更について(最終報)」や入学者選抜要項及び学生募集要項をご覧ください。</p>	R5.9.1

山梨大学工学部の改組に関するQ&A

R5.9.1 現在

No.	区分	質問	回答	更新日時
9	入試	女子枠とはどのようなものですか？なぜ女性だけを対象とするのでしょうか？	女子枠は 学校推薦型選抜 I においてのみ導入 するものであり、 募集人員は各コース2人(計14人) です。近年、労働環境や社会環境の変化を背景として、モノづくりの現場では、様々な視点による研究・技術開発が求められており、これを実現するためには、男性のみならず 女性技術者の育成・増加が必要 であり、 国の政策においても理系女子学生の確保が重要 とされています。本学工学部は、 現状の女子学生割合が13%程度と全国平均を下回っていることなどから、多様性の確保のためにも早期に改善が必要 と考え、今回の改組を機に女子枠を導入することとしたものです。	R5.5.11
10	大学院	令和5年4月に 先端材料理工学科へ入学し、大学院進学も考えています 。山梨大学の大学院では、 先端材料理工学科で学んだ内容を更に深く学ぶ ことができますか？	本学は、学部段階で身に付けた学修内容を存分に発揮し、 更なる成長・深化が遂げられる大学院を設けています 。 先端材料理工学科など改組前の学科で学んだ場合でも同様 ですので、ご安心ください。	R4.8.10
11	大学院	大学院も改組する のでしょうか？	学部改組の4年後(令和10年4月)に大学院も改組を見込んでいます 。大学院改組にあたっては、学部改組前後の各学科や各コースにおいて学修した基礎及び専門知識を存分に活かすことができる大学院組織となるように整備したいと考えています。	R4.8.10
12	修学環境	現在、工学部には 女子学生は何人 くらいいますか？	工学部では200人程、大学全体では1,400人以上 の女子学生が学んでおり、誰もが学びやすい環境づくりに取り組んでいます。今後、女子枠の導入等に伴い、女子学生の増加が見込まれることから、 これまで以上に修学環境の充実を図っていく 予定です。	R5.5.11